

新しい議会構成が決定！

議長に原 明氏、副議長に竹原正人氏

新たに滑川市公共施設マネジメント特別委員会 情報技術調査特別委員会を設置

新しい議会構成

(◎委員長 ○副委員長)

◆議会運営委員会

議会の円滑な運営のために、議会の日程や議会に関する規則など、必要な事項について協議し、意見調整を行います。各会派や無会派の議員から、6名選ばれます。
議長はオプザーバーとして委員会に出席します。

- ◎中川 勲 ○開田 晃江
- 青山 幸生 岩城 晶巳
- 古沢 利之 浦田 竹昭



原議長(右)・竹原副議長

★常任委員会

市の業務は幅広く、多岐にわたるため、効率的に調査、審査を行うために、専門的な委員会を設置しています。

総務文教消防、産業厚生建設の2つの常任委員会があり、議案や請願等の詳細な審査を行います。

各委員長は、本会議で審査結果を報告します。

◆総務文教消防委員会

市の業務のうち財政、基本計画、学校、教育、防災等を所管しています。

- ◎青山 幸生 ○大浦 豊貴
- 竹原 正人 原 明
- 岩城 晶巳 古沢 利之

◆産業厚生建設委員会

市の業務のうち生活、福祉、保健衛生、観光、商工業、上下水道、道路等を所管しています。

- ◎尾崎 照雄 ○角川 真人
- 脇坂 章夫 浦田 竹昭
- 開田 晃江 中川 勲
- 高橋 久光



産業厚生建設委員会



総務文教消防委員会

★特別委員会

市政における重要な課題について調査研究するため、特別に設置されます。
12月定例会において、2つの特別委員会が設置されました。

◆滑川市公共施設マネジメント特別委員会

市が所有・管理する公共施設等の管理、運営に関する調査・研究を行うための委員会です。

- ◎岩城 晶巳 ○古沢 利之
- 大浦 豊貴 脇坂 章夫
- 青山 幸生 角川 真人
- 竹原 正人 尾崎 照雄
- 開田 晃江 浦田 竹昭
- 高橋 久光 中川 勲

◆情報技術調査特別委員会

次世代ネットワーク5Gの行政におけるの活用に關する調査・研究を行うための委員会です。

- ◎青山 幸生 ○大浦 豊貴
- 脇坂 章夫 角川 真人
- 竹原 正人 尾崎 照雄
- 原 明 岩城 晶巳
- 古沢 利之 浦田 竹昭
- 開田 晃江 中川 勲
- 高橋 久光

◇滑川市監査委員

- 開田 晃江

◇各組合議会議員

- ・富山地区広域圏事務組合
原 明 中川 勲
- ・滑川中新川地区
広域情報事務組合
尾崎 照雄 岩城 晶巳
古沢 利之 浦田 竹昭
- ・富山県東部消防組合
青山 幸生 原 明
高橋 久光

◇都市計画審議会委員

- 大浦 豊貴 尾崎 照雄

◆広報広聴委員会

ケーブルテレビNet3の議会コーナーの放映内容や、議会報告会の運営など、議会に関する情報発信を行います。

- ◎竹原 正人 ○尾崎 照雄
- 岩城 晶巳 古沢 利之
- 開田 晃江 高橋 久光



12月定例会

本会議

する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案及び陳情2件を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の16日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、次に、議案第78号に対する修正動議が浦田議員・古沢議員から提出されました。分離採決の結果、議案第78号については、議員提出の修正案は否決となり、産業厚生建設委員会の報告による修正案が賛成多数で可決、その他の26議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決されました。

次に陳情第3号及び第4号について採決され、産業厚生建設委員長の報告のとおり賛成全員で採択されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市監査委員の委員に開田晃江氏の選任が追加提案され、同意いたしました。

引き続き、議会報編集委員会委員の選任、広報広聴委員会委員の選任、次に、滑川市公共施設マネジメント特別委員会及び情報技術調査特別委

◇12月2日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、議長の選挙、副議長の選挙を行い、続いて議会運営委員会委員の選任、各常任委員会委員の選任、中滑川駅周辺整備検討特別委員会の廃止、公共交通問題検討特別委員会の廃止、富山地区広域圏事務組合議会議員・滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員・富山県東部消防組合議会議員の補欠選挙、都市計画審議会委員の推薦を行い、その後、委員会の正副委員長の互選の結果報告が行われました。

引き続き、令和元年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例の市長提出議案27件及び報告1件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問並びに提出諸案件に対

員会の設置を決め、委員の選任を行いました。その後、特別委員会の正副委員長の互選の結果報告が行われました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会としました。

常任委員会で の審査 (主な質疑等) 各常任委員会等への 付託案件はP13をご覧ください。

総務文教消防委員会

慎重審査の結果、付託された13議案については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。
☆令和元年度滑川市一般会計補正予算(第3号)について

○ 博物館の空調機器の更新について、今回直す空調機器は何台か。全体に対して何パーセントか。

○ 空調機器は110力所があり、その内28力所を入れ替える。パーセントにする約25パーセントとなる。

○ 東加積小学校体育館屋根塗装について、屋根の破損を直す工事なの

か、それとまた剥げたところを塗装する工事なのか。

○ 塗装のみではなく、腐食した部分の工事も含まれる。

(上田市長)市の施設については、ご指摘のとおり、耐用年数が過ぎたものは壊れる前に直し、市民が不便を感じることもなく、いつでも快適に使用してもらえようになりたい。

☆滑川市フルタイム会計年度任用職員
の給与に関する条例の制定について

○ 現在お渡ししている年額に見合った額を支給できるよう今後、詰めていきたい。

○ 最低賃金より若干多い金額での雇用や再雇用となる場合でも、昇給など雇用条件が変わらないのであれば、雇用条件の良いところに人が流れる。改善すべきでは。

○ 今後詰めていく中で検討材料としていく。

産業厚生建設委員会

「議案第79号」から「議案第81号」、「議案第89号」から「議案第90号」及び「議案第94号」から「議案第102号」までの14議案について、慎重審

査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第78号 令和元年度滑川市一般会計補正予算(第3号)」については、浦田竹昭委員及び中川勲委員より修正案が提出されました。浦田委員の修正案は、歳出第7款商工費 第1項商工費のうち2千万円と

第8款土木費 第4項都市計画費のうち400万円、及びそれに対応する歳入2千400万円を削減するものであり、提案の理由としては「滑川蒲鉾跡地に関しては、平成29年6月及び9月定例会において、2度にわたり否決されたにもかかわらず、取得価格が減額された以外は、活用計画がほとんど変わらず、具体的な目的、ビジョンが不透明であり、取得後の修繕費、維持管理費等が不明な状況であり、容認できるものではないこと、中滑川駅前周辺整備事業については、基本設計業務委託業務入札の結果、設計費に不用額が生じていることから、増額補正の必要性がないため」ということでした。

中川委員の修正案は、歳出第7款商工費 第1項商工費のうち2千万円と、それに対応する歳入2千万円を削減するものであり、提案の理由としては「滑川蒲鉾跡地に関しては、滑川市の観光、漁業振興のために非常に重要な場所であることは認識しており、当局が取得に意欲を示していることも十分理解しているが、取得した後、必要な費用については、

具体的に示されていないため、今後修繕等にかかる必要な経費について、精査いただき、議会に示したうえで、再度予算を計上いただきたい」ということでした。

慎重審査を行なった結果、浦田委員の修正案については賛成少数で否決、中川委員の修正案については賛成多数で可決となり、議案第78号のうち修正案に対応する部分を除く部分については、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

「陳情第3号」及び「陳情第4号」については、12月10日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。慎重審査の結果、陳情第3号及び陳情第4号についてはどちらも賛成全員で採択すべきものと決定しました。

☆令和元年度滑川市一般会計補正予算(第3号)について

◎浜の活用推進事業について (上田市長) 滑川蒲鉾跡地については、滑川市のおかげで商売を続けさせてもらったという感謝の気持ちから、使っていただくなら市で有効に活用してもらいたい、という所有者の強い思い入れがある。工場見学等で市へも貢献していただいた。また、漁港の周辺は、表層水、深層水、真水が豊富という条件がそろっている

日本でも数少ないところであり、水の活用という面で大きな利益があるだろうということ、土地の売買については帳簿の面積で行うことで、大

きな価値が含まれている。

問 市民には、市が古い建物を買うのかというイメージがある。建物を壊して、正しい土地評価で買い、必要なものを建てることはできないか。

答 将来的な取り壊し費用は、評価額から差し引いている。まず利用できるものは利用し、今後の活用方針が決まった段階で取り壊しすると考えている。

問 施設が2年あまり使われていない。電気や水道設備については復旧工事が必要ではないか。

答 (石川副市長) つい最近まで所有者が管理をしておられたので、老朽化は進んでいないと思っている。基本的には経費はかけないで、使おうと考えている。この土地を先行取得することで、将来にわたって活用できる。今がその機会である。

問 取得に関しては、市民の理解が必要である。施設を有効に使うために、どれだけの費用をかけるのか、市民にPRする努力が必要ではないか。

答 (石川副市長) 市の所有になれば、かける費用も予算化するが、現段階で市の所有でない建物について、どうこうできないので、購入後にいろいろな事業と合わせて必要な経費についてお願いすることになる。

◎ほたるいカ観光施設設備充実費について

問 ほたるいカミュージアムの空調設備、消防設備の修繕費が計上されるが、急に壊れたのか。

ているが、急に壊れたのか。

答 消防設備は点検で不備があった部分、主に非常用設備、自動火災報知機等についての計上である。空調については完全に動かないというものではないが、限界に近付いており、来シーズンのために計上したものである。

「陳情第3号」及び「第4号」については、それぞれの陳情者から、中滑川駅前広場の交差点形状等については、市で開催された説明会の内容では納得できないため、関係機関を含めた説明会を再度開催していただきたい。という趣旨の説明を受けた後に、当局より「住民が求める利便性はもちろんだが、安全性も重要な要素であり、駅前広場としての諸機能を入れ込む必要もある。市の計画であるため、市が責任をもって改めて説明を尽くし、ご理解をいただくよう努めたい。」との見解が示され、委員から質疑を行いました。

問 そもそも信号を付けないという決定があるのか。

答 警察でまず信号機を外したいということ、中滑川駅前一帯の整備ということもあり、信号の撤去を含め、いろいろな案を出しながらラウンドアバウトを提案させていただいた。

(上田市長) ラウンドアバウトについては、陳情をいただいたが、皆さんの話をもっともであるので、再度警察とも協議を重ね、皆さんの意思

をしつかりと伝えておきたい。寄付をいただいた土地、購入した土地を有効に利用するとともに、より安全で地元の方々により便利になるように使うべきだと思ふ。場合によってはこれから少し時間をかけて追及していかなければならないと思つている。近隣の町内会の皆さんの意向に沿ったものを第一に考えながら市全体のことを考えていきたい。

日誌

元年11月

- 1日 議会運営委員会協議会
- 5日 三市議会議員研修交流会
- 6日 全国市議会議長会
- 7日 全国市議会議長会
- 8日 第150回地方財政委員会
定例議員協議会
- 12日 議会運営委員会協議会
- 14日 富山地区広域
事務組合行政視察(愛知県)
- 15日 新潟県南魚沼市より行政視察
- 19日 議会運営委員会協議会
- 20日 産業厚生建設委員会協議会
- 25日 産業厚生建設委員会協議会
議会運営委員会
- 26日 北朝鮮に拉致された日本人
を早期に救出する富山県議
員連盟理事会(富山市)
- 27日 定例議員協議会
政策提案の提出

12月

- 2日 12月定例会
- 16日 議会報編集委員会
- 24日 富山県東部消防組合議会
議員協議会・全員協議会
本会議(魚津市)

2年1月

- 10日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会
- 14日 議会報編集委員会
- 15日 産業厚生建設委員会協議会
- 17日 静岡県焼津市より行政視察
- 22日 議会報編集委員会
- 23日 産業厚生建設委員会協議会
議会運営委員会
- 30日 全員協議会
第1回臨時会

代表質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、36項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページには、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。)

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



(会派＝会派自民) 岩城 晶 巳 議員

- 1 滑川市の学校教育について
- 2 プレミアム付き商品券について



Q 科学・数学の時間の導入目的を改めて問う。

A 上田市長

ものづくりの富山県の中のものづくりの滑川市である。富山県の活力も滑川市からありと、そういう自負心もある。一つは、理数教育が最も重要な科目の一つになってくる、将来に向けて基礎的な学力、そして教養があるというところで、自分のため、そして滑川市の産業を支える人材であるということの期待である。二つ目の理由は、義務教育は生きる力を養う、科学に強い子になってもらいたい。農業も幅の広い科学であるわけで、生徒の一人ひとりが将来に向けて、自分の生きる力をしっかりと養ってもらおう。そういうことを力点に置いた。

Q 子どもたちは、音楽の好きな子、美術が好きな子、スポーツが好きな子と多種多様性を持っている。科学のほうに特化させるのは、個性をそぐのではないか。

A 伊東教育長

文系、理系と分断するのではなく、仮説を立て検証するということ、そうした探究的学びは実験を通して発展的に考察し、科学的な言葉で筋道を立てて

説明し、結果から自分の考えをまた軌道修正すると。そして結論を述べて、その根拠を明らかにするということはすべての教科に通じている。

Q プレミアム付き商品券の低所得者向けについては、全国的に申し込みが少ない。滑川市の状況はどうなのか。

A 藤田産業民生部長

本市の状況については、対象者が4千900人で、11月29日現在、申請率は約45%となっている。

Q 全国的に申請が少ないということとで延長するということが、いつまでか。また延長の広報活動は、

A 藤田産業民生部長

申請期限を12月27日まで延長したところである。市のホームページ・ケーブルテレビで広報を実施する。申請者については、7月に申請書をお送りしているが、当初予定になかった部分として、10月末までに未申請者に関して、封書で改めてご案内をしたところである。

・その他質問

水橋高校跡地活用について
滑川蒲鉾購入について

代表質問



(会派＝日本共産党議員団) 古沢 利之 議員

- 1 防災対策について
- 2 地域医療体制の確保について



Q 水防法の改定で、県は県管理の河川のハザードマップを改定し、本市も改定中と聞いている。地域防災計画も改定が必要でないか。

A 石坂総務部長

県による最大規模の降雨での、浸水想定地域図をもとに、本市の洪水ハザードマップの作成を進めている。地域防災計画の被害に係る部分などの一部見直しが必要となる。指定避難所の見直しや、浸水想定区域となる施設の追記などである。

Q 避難所の生活環境の改善が必要だ。どう考えているか。

A 石坂総務部長

板の間やビニールシートでの生活は苦痛である。体育用マットの活用や、備蓄している50台分の段ボールベッドを使用する。現在の備蓄数では十分でないのが増やしていきたい。

Q 小・中学校の体育館が避難所になっていないが、エアコンがほとんど設置されていない。検討課題に入れていないのか。

A 石坂総務部長

必要性は十分認識している。多額の経費が必要で、有利な補助制度等の活用を視野に検討したい。

Q 厚生労働省が再編統合が必要と発表した病院に、厚生連滑川病院が含まれている。県の医療審議会では

富山県地域医療構想を策定し、急性期、慢性期の病床を中心に、大幅に減らす構想となっている。どう見ているのか。

A 藤田産業民生部長

地域医療構想は、団塊の世代全員が75歳以上となる超高齢社会を迎えることから県で作成された。必要病床数は、厚生労働省令による全国統一の算定式で推計されたものだ。必要な医療が提供される体制が維持されることが前提と考えている。

Q 全国統一の算定式のため、地理的条件などは入っていない。地理的実情を無視したやり方は納得できない。どう考えるか。

A 藤田産業民生部長

発表があつて市長は県、厚生連高岡病院へも行って訴えてきた。滑川市の厚生連の位置づけも配慮して考えてもらいたい。

Q 議論する調整会議には医療、介護関係者の他に行政からも参加している。意見は言えるのか。

A 藤田産業民生部長

副市長が医療圏ごとの調整会議の委員となっており、本市の主張を行っていきたい。

・その他質問

会計年度任用制度について
教員の負担軽減について

一般質問



1 寺家小学校職員駐車場の舗装整備要望が、何年も前から提出されているが、見送りされている理由はないか。
2 中滑川駅周辺整備基本構想について
3 滑川漁港周辺整備について

大浦 豊 貴 議員



Q 寺家小学校職員駐車場の舗装整備要望が、何年も前から提出されているが、見送りされている理由はないか。

A 広田学務課長 各小中学校から提出された要望については、児童・生徒の安全及び教育環境の向上に資するものを優先して取り組んでいるところである。

Q 本年も継続要望を出されているが、令和2年度予算編成へ、予算要求書を提出されたか。

A 広田学務課長 提出した。

Q 中滑川駅周辺整備について、今定例会の補正予算案として基本設計費を400万円増額し、提案理由では、施設内容充実のため、規模を見直したという説明だが、経緯について説明いただきたい。

A 石井まちづくり課長 6月定例会後、7月に産業厚生建設委員会で行政視察を実施し、担当課も同行した。その成果を踏まえ、議会側から規模の見直しを求められた。
Q 基本構想を策定する際は、市民から意見をいただいているが、規模拡張に対し意見をもらったのか。そして、規模拡張を市民は求められているか見解について問う。

A 石井まちづくり課長 規模については、具体的にこれだけの大きさという数字は提示していない。今回、議会側とも協議し規模を見直した。

Q 中滑川駅周辺整備の総事業費、年間維持管理費、運営費は全て変更になると考えるが、概算予定額はどうか。

A 石井まちづくり課長 駅前広場もあわせた中滑川駅周辺整備の総事業費は、4億円弱増え、12億円から16億円程度、施設維持管理費は700万円程度増え、1千200万円から2千200万円程度と見込んでおり、運営費は変更しないものである。

Q 令和元年6月定例会中に提出された、修正案に対する反対討論の中で、将来的な公共施設の集約・統合など入居可能なものとする要望が出されたが、見解はどうか。
A 石井まちづくり課長 集約・統合は、考えていない。

Q 浜の活力再生プランは5か年の計画であるが、優先採択される推進事業計画を持っているか。
A 長崎商工水産課長 施設整備による労働環境の改善を盛り込む。

一般質問



1 北加積小学校の駐車場の駐車場について
2 滑川市の大地と水循環を守る条例では、大地と水循環保全審議会を設置することになっているが委員はどんな方々か。
3 石坂生活環境課主幹 良好な水循環保全、重要な事項を調査、審議するため、公共的団体等の代表や学識経験者など10名以内の委員で組織を設置することになっている。
4 9月27日に富山県水産研究所等の各代表者、8名の方々に委員を委嘱した。
5 今後の滑川市の大地と水循環を守る条例の整備計画は。

脇坂 章 夫 議員



Q 北加積小学校、きたかづみ認定こども園含む駐車場拡張予定はないか。

A 上田教育委員会事務局長 平成24年度・27年度で64台収容駐車場を整備したので拡張予定ない。

Q 滑川市の大地と水循環を守る条例では、大地と水循環保全審議会を設置することになっているが委員はどんな方々か。

A 石坂生活環境課主幹 良好な水循環保全、重要な事項を調査、審議するため、公共的団体等の代表や学識経験者など10名以内の委員で組織を設置することになっている。9月27日に富山県水産研究所等の各代表者、8名の方々に委員を委嘱した。

Q 今後の滑川市の大地と水循環を守る条例の整備計画は。

A 石坂生活環境課主幹 今年度中に水源涵養保全地域を指定し滑川市内の地下水の現況把握に努める。
Q 各小学校スクールゾーンの看板について、色あせたものがある。取りかえてはどうか。
A 広田学務課長 変形や退色している表示看板は順次更新している、今後も状況を確認し随時取りかえ

を考えている。

Q 図書館について、図書館の男子トイレ個室の構造・つくりが狭く、扉を内側に押し開け閉めする方式ではなく、左右に引き戸にしてはどうか。

A 地崎生涯学習課長 図書館のトイレは、平成28年度の改修工事において、和式トイレを洋式トイレへ変更し、利用しやすくした、引き戸については、次回の改修時の参考としたい。

Q 滑川漁港の観光整備について、さきの10月16日、富山湾が加盟する「世界で最も美しい湾クラブ」としての魅力を世界に発信した。滑川漁港も総合開発のチャンスと思う、開発を進める道筋をつけてはどうか。

A 網谷観光課長 日本初となる世界総会が富山県で開催され、18日夕食交流会でホタルイカのてんぷらを振る舞った、19日は観光遊覧船を活用しクルージングを実施した。また、滑川漁業協同組合、県魚連、市、県で構成する協議会では、浜の活力再生プランが検討されており、滑川漁港周辺の総合的な整備が必要と考えている。

一般質問



1 Net3の行く末について
2 観光振興について

竹原 正 人 議員



Q 令和元年度10月の滑川中新川地区広域情報事務組合議会定例会において、「当組合では、将来にわたり持続可能で安定的なケーブル事業を継続することが困難であり、苦渋の選択ではあるが、民間事業者に事業譲渡することが最善の方法であると判断した。」と報告を受けた。理由は。

A 相沢企画政策課主幹 開局以来、キャンペーンなどの販促活動を通じて、これまで自主運営の維持に努めてきた。その中でNet3が財務分析を委託したコンサルタントから、企業会計ベースでみると赤字の状態が続いてきたこと。近年は国内の多くのケーブルテレビ事業者が、テレビ収益の減少をF T T H化による通信事業、インターネット等の事業収益の増大で補う構造となっていること。そのことから、F T T H化と、通信事業の確保が、今後の財政基盤の強化に向け必要であると指摘された。通信事業については、技術の進展スピードが速く、インフラ投資や多様なサービスの展開、営業費用の投資が求められることから、今

後の滑川中新川地域におけるケーブルテレビ事業のあり方として、民間事業者によるテレビ事業と通信事業の一体的な運営がふさわしいと判断された。

Q ケーブル事業を開始するときはNet3に加入してくれと、営業をし、さまざまなキャンペーンをしながら加入者の獲得に努力をしてきた。多額の投資がわかると、民間事業者へ事業譲渡しようとしている。無責任ではないか。

A 相沢企画政策課主幹 市民の皆様のご理解を賜りたいと考える。Q 今シーズンのホタルイカの漁獲量は、海上観光において、神秘的な光景が多く見受けられなかったと伺っている。仮に来シーズンも今シーズンのようになったとして、対応をどう考えているのか。

A 網谷観光課長 今シーズンの漁獲量は130トン、昨年が219トンで、不漁という結果であった。観光客は青白く輝く神秘的な光景を見るために深夜にわざわざ市内外から来られることから、少しでも満足してもらうことは難しいと考えるが、心からのおもてなしで、しっかり対応していきたい。

一般質問



1 厚生労働省が医療費を削減する
2 豪雨に対する安全・安心の備えは十分か
3 子どもサミットで子どもたちが体験して感じたことを発表したけどどう対応するのか

中川 勲 議員



Q 厚生労働省が医療費を削減する目的で、再編統合を促す病院を公表し、厚生連滑川病院が含まれている。滑川市にとって唯一の公的病院であり、将来的にも安定して医療にあたってほしいと思うが。

A 上田市長 厚生労働省の発表は不意を突かれ、大変不愉快であったが、滑川病院のお話では今回の滑川病院は絶対になくなりませんとのことであった。

Q 市民にとっては、24時間365日健康を守ってくれている厚生連滑川病院であるが、将来どうあるべきか。

A 上田市長 地域医療をしっかりと守ってもらいたいと同時に、市内の医療機関全体が一丸になって市民の健康をつくって、守っていただくことを期待する。

Q 集中豪雨による市内の河川、用水、排水路の対策は万全か。

Q 中滑川駅周辺の地域における洪水対策は万全か。

A 岩城建設課長 調査の結果、流下能力が不足する区間の対策として、本年度は田中町地内コンビニ駐車場から海老よしの下を流れる川まで抜く工事を予定、次年度以降は、旧農協協会館跡地を流れる水路、中滑川シテイハイッ付近水路等について拡幅改修工事を予定。

Q 災害が発生または発生のおそれがある場合、市民への通信方法や避難所への案内の訓練は万全か。

A 澤川総務課長 防災行政無線、防災ラジオ、緊急速報メール、市メール配信サービスをはじめ、広報車、ケーブルテレビ、ホームページ等あらゆる伝達手段を駆使し伝達する。これらの情報から市民一人ひとりが自分の命は自分で守る意識のもと、避難行動をとる。各地域において毎年自主的に地域の特性に応じた訓練がされている。

Q 高齢者の避難所への誘導対策は。

A 石川福祉介護課長 避難情報が出た時点で、隣近所に早めの避難を呼びかける。個別の支援を要する方は避難行動要支援者見まもり台帳で把握している。

一般質問



1 人口増加について
2 浜の活用について

青山 幸生 議員



Q 滑川市の過去5年間の出生率はどうか。

A 相沢企画政策課主幹 平成25年は1・60、平成26年1・53、平成27年1・66、平成28年1・51、平成29年1・63になり、平成30年については、算出の根拠となる数字が公表されていないため現時点で未確定である。

Q 高校生医療費給付費についての詳細は、財源は試算しているか。

A 落合子ども課長 義務教育終了後の高校生の親の支援を充実するため、通院、入院に係る医療費の自己負担分を無料化にするもので、来年4月から新たにスタートさせたいと考えている。給付費については昨年度の中学生医療費助成の実績額1千600万円をもとに試算しており、金額としては1千700万円程度を見込んでいます。

Q 高校生等の医療費については今後どのようにPRしていく予定か。

A 落合子ども課長 市の広報滑川をはじめ、ホームページへの情報掲載、また子ども課窓口での制度周知用チラシ等の設置に加えて、市内の小中学生を通じた保護者宛ての案内や、医療機関へのチラシ

設置などをお願いする予定だ。助成対象となる全ての方が漏れなく本制度を活用できるように、制度周知のためPRの徹底を図りたい。

Q 「子ども滑川市」を検索した場合、子育て孫育て応援サイトが出てくる。第2子保育料完全無料化など、例えば今回の高校生医療費無料という大見出しで、ぜひホームページのお知らせ欄の上に、大きく表示することでアピールできないか。

A 落合子ども課長 サイトの内容を見直して、子ども・子育てに係る施策をアピールできるように検討したい。

Q 滑川蒲鉾跡地取得費2千万円に係る漁港周辺の活用計画を讀んでいて、事業計画を煮詰めない事は厳しいと感じた。活用計画を運用できる組織の見解は。

A 網谷観光課長 計画の実施にあたっては、商工水産課、海洋資源振興課、観光課の3課が主体となり、責任を持って実施したい。なお必要に応じて、他課の協力を得プロジェクトチームを検討することも考えている。

一般質問



1 常任委員会での勉強会について
2 中滑川駅前周辺整備事業について
3 滑川蒲鉾跡地購入について
4 青雲閣の改築計画について

浦田 竹昭 議員



Q 産業厚生建設委員会、中滑川駅前整備事業、滑川蒲鉾跡地購入に関して、協議会でない、非公式・非公開の勉強会で説明をされ、他言無用とされたのは何故か。また、他の議員には知らされていないことから、公平・公正で透明性に反する差別的行政行為であり、議会軽視と思われるが見解を問う。

A 石川副市長 途中で公開することで、不信感や混乱、心配を与えることを懸念し、勉強会で説明をし、取り扱いを慎重にとお願いした。最終的には、本会議で議論、採決を踏まえ、公開されており、全く議会軽視には当たらない。

Q 中滑川駅前整備事業の基本設計委託の入札が、180万円で落札し、820万円の不用額がでており、400万円の追加補正は必要なのではないか見解を問う。

A 石川副市長 補正予算編成段階ではわかっていたいなかった、余って来るだろうと思うが、市の他の活用ができるかと考えている。
Q 国交省の都市防災推進事業交付金申請の計画提出、認可、大幅修正変更計画提出のスケジュールについて見解を問う。

A 石川副市長 計画申請提出は今月中で、認可予定は来年3月、変更申請は来年6月と聞いている。

Q 滑川蒲鉾跡地取得の当初提示額4千800万円、今回の提示額2千万円、その差額の2千800万円の根拠について見解を問う。

A 上田市長 大きな金額差額は、副市長の努力で、交渉結果である。以上。

Q 滑川蒲鉾跡地購入後の既存施設の修繕、改修費用、並びに維持管理費用について見解を問う。

A 石川副市長 事業を行うにあたり、最小限の経費で何かできないか考えているところであり、維持管理費用についても、具体的にどの様に管理するか考えていない。

Q 青雲閣改築特命担当が設置されて今日までの事務進捗、並びに構想、設計、施工、完成までのスケジュールについて見解を問う。

A 藤名建設部長 関係課職員で構成する庁内検討委員会を6回開催しており、建物の内容、規模、配置、運営方法等について検討しており、現在、基本構想案を検討している。その中でスケジュールについても検討する。

一般質問



4 3 2 1

滑川蒲鉾跡地取得について
東福寺野自然公園について
教育について
健康寿命延伸について

尾崎 照雄 議員



Q 滑川蒲鉾跡地取得について、建築物は耐震診断すべきではないか。

A 石川副市長 この施設が耐震的に大丈夫かどうかは非常に心配の種であり、県土木の建築主事に相談もかけてきた。その中で、法律的には、増築しない限りは耐震診断の必要はないという回答を受けた。しかし、購入したときには、安全に使えるだけの対応はしていかなければならないと考える。

Q 受東福寺野自然公園に本年何回イノシシが侵入したのか。

A 荒俣公園緑地課長 9月から10月にかけて5件確認している。

Q イノシシ侵入対策として、鉄筋の太いメッシュを使って、高さも15メートルになるように、現在の擬木にワイヤー固定するなどの対策をとってはどうか。

A 荒俣公園緑地課長 イノシシの侵入経路についてはほぼ特定できている。今後はその侵入経路を重点的に、柵の下を掘っても侵入できない構造の柵の設置や、忌避剤を併用するなど侵入防止対策を強化していきたい。

Q スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの更なる充

実を図って教師の負担軽減を図るべきだと思いが、当局の見解は。

A 広田学務課長 スクールソーシャルワーカーについては、毎月活動実績が市教育委員会に報告されている。関係機関を集めた個別のケース会議は、小中学校に関するものとしては、去年は8回、ことは12月1日現在で10回開催している。より小まめに実態を捉え、必要に応じてケース会議の開催を行ってほしい。担任が1人で混乱を抱え込むことのないよう、組織的な対応に努めていきたい。

Q フレイルとは、虚弱の状態のことを言うが、フレイル予防の取り組みと課題について伺う。

A 石川福祉介護課長 要介護認定を受けていない高齢者を対象に毎年介護要望アンケートを行っており、フレイルのリスクの高いと思われる方を包括支援センターの職員が訪問し、心身の状態や生活状況の把握とともに、介護予防教室や介護保険制度の情報提供や助言を行っている。個別対応のために、対応できる人数に限りがあることが課題である。

実を図って教師の負担軽減を図るべきだと思いが、当局の見解は。

一般質問



1 2

まちづくりについて
福祉について

開田 晃江 議員



Q 滑川市の天日塩は、今後、公設民営化を考えていないのか。

A 上田市長 最初に起こすことができないことは行政で先行するが、民間の方がやると言われれば全部移行したい。

Q タラソピアの外壁はあのままか。

A 網谷観光課長 外壁塗装除去工事完了後は、コンクリート打ちっ放しとして再塗装は行わず、今後タラソピア正面に観光用看板を設置することとしている。

Q 観光船キラリンの氷見航路は、氷見まで船で行き、どのように帰るのかを想定して設定されたか。

A 網谷観光課長 氷見で観光を楽しむので、バスで滑川まで帰ることを想定し、まずは片道運航とした。**Q** 非常に不透明な宣伝ではないか。

A 網谷観光課長 観光船と観光バスの利用は旅行業法の許可をもらっているところでないといけない。今後は、市内の旅行業者に商品として扱ってもらい、PRしていければと考えている。

Q ダイバーの皆さんが滑川に来られる。海の中で魚を見る、このことについて漁業関係者と話し合いや合意はできているか。片やお楽

しみ、片や生活。立場が全然違うこととの認識はあるのか、伺う。

A 網谷観光課長 漁業関係者との正式な協議はしていないが、今後ますます増えると予想されるダイバーとのルールづくりなどの検討は当然必要になってくると認識している。

Q 中滑川駅前交差点ラウンドアバウト化は、市民がわかりやすく安全に安心して通れる市民のための道路にすべきと思うがどうか。

A 石井まちづくり課長 警察では駅前の信号機を撤去する意向であり、交差点の改良にあたり、自動車や歩行者が通行しやすい形態を検討し、ラウンドアバウトであれば、効果が発揮できる形態ではないかと計画した。

Q 生活支援・介護予防サービス体制整備協議体が立ち上がったと聞いた。民生委員との違いは何か。

A 石川福祉介護課長 介護保険法の改正で、協議体は生活支援と介護予防の推進について協議する場。民生委員は、個々が抱える問題に相談に乗り、必要な対応を促し適切なサービスが提供されるよう支援する役割を担っている。

一般質問



- 1 中滑川駅周辺整備について
- 2 買い物対策について
- 3 空き地・空き家について

角川 真人 議員



Q 産業厚生建設委員会で駅前広場区域の拡大について説明を受けたが、この先バスの運用がデマンド交通やハブバス停などに変更になった場合、今の予定で大丈夫か。

A 石井まちづくり課長 市街地循環ルートの利用者は増加傾向だが、それ以外のルートは横ばいか減少傾向にあるため、変更があった場合でも対応できると考える。

Q バスを利用する客層は朝の学生か高齢者の方である。一般車送迎場のスペースが駅の真正面になっているが、ここをバス乗降場にした方がいいのではないか。

A 石井まちづくり課長 現状から、利用率の高いタクシー乗降場と一般車送迎場を、駅舎付近に配置したいと考える。

Q 最近ではコンビニが撤退することもよくあり、歩いていける範囲に商店がない地域が町の中にも増えている。移動販売車や販売所の取り組みを検討できないか。

A 長崎商工水産課長 現在のところ考えていないが、県が実施している買い物支援事業の補助要件を満たす事業所があった場合、市としても協力したい。

Q まだそれほど問題になっていないかもしれないが、車がないと買い物ができない環境の所で、今のうちに少しずつ、町内の公民館などで週に一度の移動販売所など検討してみてもどうか。

A 長崎商工水産課長 そういった所での販売は事業主体というのがなかなか難しいと思うが、他の自治体を参考に考えたい。

Q 空き地・空き家バンクに利用状況はどのくらいなのか。

A 石井まちづくり課長 現在空き家が19件、空き地が34件、合計53件登録されている。利用希望者はこれまで132名の登録があり、売買等の成約件数は26件である。

Q 所有者が市外におられるために放置されている危険な空き家がある。所有者の方はこの現状を分かっているのか、連絡はとれているのか。

A 石井まちづくり課長 写真を送ったり見積もりをとったり、県内の方には直接足を運んで交渉もしている。経済的な事情や、親族間での協議が調わないなどで、なかなか対応されないことが多い。

陳情・要望書

件名及び提出者

処理結果

・陳情(2件)

1 中滑川駅前広場等の説明会での住民の意見について.....採 択
片原 力三

2 陳情書(中滑川駅周辺の施設整備並びに環状交差点について説明会の開催を求めるもの).....採 択
福井 元 外4名

・要望書(3件)

1 令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願ひ.....全議員へ参考配布
公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

2 公共施設等における木材の利用促進について.....全議員へ参考配布
富山県木材組合連合会 会長 西村 亮彦 外3名

3 学校教材の計画的な整備推進についてのお願ひ.....全議員へ参考配布
一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

北加積小学校 6年生25名が 代表質問を傍聴

12月9日(月)に行われた代表質問を、北加積小学校6年生25名が傍聴しました。

6年生の社会科の学習で、市議会の働きについて学ぶ一環として、議会でも市民のためにどのような話し合いをしているのか、実際の議会の様子を見学し、体験していただきました。緊張した雰囲気の中、子どもたちは真剣に議場でのやり取りを見学していました。

傍聴後、6年生の皆さんから、以下のような感想をいただきました。

・小学校についていろいろ大切なことを話していて、このような話合いで学校のいろいろなことを決めるんだなと思いました。

・初めての市議会見学で特別な体験をすることができました。学校教育について岩城議員が、私たちがいつも使っている教材のことや科学の時間のことなど、6つの質問をされています。滑川市が残食をあまりし

ていないことなど知らないことも今知ることができて良かったです。

・中へ入ると、すごいはりつめられた緊張感で、あまり感じることでできない空気でした。

・難しい言葉やわからないことが多かったけど、すごくおもしろかったです。興味を少しもちました。また行ってみたいです。

・市議会では、学校、保育所などの給食や授業に関する大事なことの意見を交わして決めていることを初めて知りました。

・見学して一番心に残ったことは、話し合いの時、自分の意見をしっかりと言っていたところです。納得するまで話している感じがよいなと思いました。

・議員さんたちが言っている意見が自分の考えと同じで、興味をもちながら聞いていました。どうやって議会が行われているかわかったので、とてもよい経験になりました。

・最初はなぜ土曜授業があるかなどの議題を話したり、教育などのお話がありました。私はこ

の土曜授業は何のためにあるかわかりませんでした。会議のお話を聞いてわかりました。

・「タブレットのことについて」では、総合などの調べ学習などにも役立つと教育長がおっしゃられていたので、使ってみたくなりました。3学期から使えるようになるのが楽しみです。

・市長や議員が一生懸命話し合っ学校や市のことをよくしようとしているのだなと思いました。

・今日の市議会見学で一番心に残ったことは、話し合いの様子です。もつとどんどん意見を言っていく感じのなかなと思ったら、一回一回〇〇さんと名前が呼ばれ、丁寧だなと思いました。

・学校に関する質問をいっぱいしていたのでよくわかったけれど、難しい言葉が多くて話の内容が分かりませんでした。

・行く前は気が進まなかったけれど、行ってみたら普段は聞かないことも

たくさんあって興味深かったです。特に土曜授業は過密スケジュールの授業を減らすためにあるなど、児童+先生のことを考えて土曜授業があるのだと知ってびっくりしました。

・市のこれからを決める大事な場であるのもあって、皆さん真剣な態度で議論していただいたのでございます。



傍聴の様子

賛否一覽表

議案	議員名	会派自民				共産党議員団		無会派						
		原明	岩城晶巳	中川勲	高橋久光	角川真人	古沢利之	大浦豊貴	脇坂章夫	青山幸生	竹原正人	尾崎照雄	浦田竹昭	開田晃江
議案第78号		/	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●
令和元年度滑川市一般会計補正予算（第3号）から商工費2,000万円、都市計画費400万円を減額する修正案（提案者・・・浦田議員、古沢議員）														
議案第78号		/	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
令和元年度滑川市一般会計補正予算（第3号）から商工費2,000万円を減額する委員会修正案														
議案第78号		/	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○
令和元年度滑川市一般会計補正予算（第3号）の修正議決した部分以外の原案														
議案第79号から 議案第104号		/	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
 全員賛成以外の議案についてのみ掲載しています。

3月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
2月28日(金)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
3月2日(月)	10時	補足説明
7日(土)	10時	代表、一般質問（土曜議会）
9日(月)	10時	一般質問
10日(火)～12日(木)	10時	予算特別委員会
13日(金)	13時	総務文教消防委員会
16日(月)	10時	産業厚生建設委員会
18日(水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

本年も土曜議会を開催します。会派代表が質問を行う代表質問及び一般質問が行われます。傍聴の手続きはともも簡単です。ぜひ、お誘いあわせの上、傍聴においでください。
 （小・中学生も傍聴できます。）

開催日 3月7日(土)
午前10時



議会報編集委員会から

議会の組織構成の変更に伴い、新たなメンバーで議会だよりを編集することとなりました。2年間よろしくお願ひいたします。「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111
 (内線371)

【議会報編集委員】
 角川真人委員長
 脇坂章夫副委員長
 大浦豊貴委員
 青山幸生委員
 浦田竹昭委員
 中川勲委員